

No. 981

巨人8連覇なる

日本シリーズ

巨人の3勝1敗で迎えた日本シリーズ第5戦は、10月28日、西宮球場で行なわれました。もう一步も引き下がれない阪急。あと一勝で8連覇なる巨人。2回裏阪急の攻撃。巨人の先発投手高橋（一）から大熊が左翼スタンドにホームラン。先取点をとった阪急は、3回表、先発投手米田を下げ今シリーズ6イニング無失点の戸田をマウンドに送ります。一死後、迎えるバッターは王。右翼スタンドへ同点ホームラン。続く長島も左翼スタンドへ。O・Nのアベックホームラン。末次が四球で歩き、黒江が左翼スタンドへ2ラン。そして森も右翼スタンドへライナーでたたき込み1イニング4ホームーの豪快な新記録。一挙に5対1と逆転。

4回表にも戸田から変わった児玉にO・Nが安打を浴びせて8点を追加。8対1と試合を決めました。なんとか打ち返そうと阪急、しかし、大量点のリードに気を良くした高橋（一）の好投に苦戦、9回裏、最終回阪急の攻撃、一死後、ようやく長池の2ランホームランで2点を返したもののが石に水。岡田のスwingアウトで試合終了。5度、阪急の雪辱ならず巨人は、史上初の日本シリーズ8連覇を達成。最優秀選手には、今シリーズ、投・打に活躍した巨人、堀内投手が選ばれました。

第70臨時国会

四 次 防 で 対 決

10月27日招集された第70臨時国会、田中首相は首相になって初めて所信表明を行った。これに対し各党の代表質問が30日の衆院本会議を皮切りに衆・参両院で行なわれた。第一日、社会党を代表して成田委員長が、
……ベトナム和平の話し合いが急進展を見せており、なぜベトナムむけの戦車輸送に積極的に協力し、沖縄へのB52の大量飛来を認め、ベトナム和平への動きに逆行する態度をとるのか、まったく理解に苦しむ……と激しく田中政治、を批難。また、公明党の竹入委員長も
……四次防は世界有数の軍事力を持つまでになった。国民の望む、日本の平和はこのような軍備では達成されない。また、このような発想が、色々な悲劇を生んで来たことは歴史が教えるところである……と四次防の不当性を追求した。

田中首相は

……日中復交、ベトナム和平の動きがあっても不安定な要素は残る。非武装中立の立場をとるなら別だが、日米安保条約は維持していく。
四次防程度の防衛費の負担は当然である……と答弁し、四次防をめぐって野党と政府はまっこうから対立した。